

Onomichi kesennuma

絆

しまなみ音楽フェス

主催：尾道青年会議所

協力：報告書作成 池永憲彦

2011年夏 尾道と気仙沼を繋ぐ
初めてのイベントが開催されました。

しまなみ海道音楽フェス ～絆～

主旨

音楽を通して被災地 気仙沼としまなみ海道との
「人と人との交流」をはかる。

ただの支援じゃなく、復興後もずっと交流していける
本当の意味での姉妹都市になる「きっかけ」のイベント
を目指す。

海辺の野外フェスでしまなみの魅力を感じてもらおう。

事業概要

- 広島県内外のアマチュアバンド、及びプロのミュージシャンによる野外ライブ。
- 東日本大震災被災地、宮城県気仙沼市から**ゲストアーティストを招いての復興ライブ。**
- 宮城県の物産販売コーナー。
- しまなみ海道沿線の名物を集めたフードコーナー。
- 東日本大震災被災地の状況を写真パネルで紹介。
- 東日本大震災被災地への復興支援メッセージの募集。
- 義損金募金コーナー。

実施日時:2011年8月28日(日)

12:00~19:00 【入場料】無料

会場:瀬戸田サンセットビーチ 野外ステージ・グラウンド

主催:社団法人 尾道青年会議所

【出演】●森田直幸●ひまり●プラスティック・オノミチバンド(池永憲彦)
●マウンテンマウス●Sugar fracture(尾道大学)●LDB●新開警備
隊ほかアマチュアバンド多数

何故気仙沼？



気仙沼



尾道

気仙沼を安婆山から見た風景は実に尾道に似ています。

尾道と同じ坂道と魚の街。

もし、尾道が次の日に街の半分が流されたらと想像して下さい。

遠く離れた兄弟みたいな海沿いの街が今危機に晒されています。

●気仙沼は今回協力に入った池永の交流があるので時間の迫った中でも敏速且つ、繊細な打ち合わせが出来るという事でこの方をお願いした。

今回のキーマン:佐藤由美子さん

NHK朝イチでも紹介された、気仙沼の復興活動の中心人物です。

(地震関連情報)

宮城・気仙沼 めざせ！復興

東日本大地震で壊滅的な被害を受けた気仙沼市、その気仙沼市の復興支援活動を支える一人の女性を取材。女性はキングス・ガーデンを拠点として水揚げされた魚等を被災者に分配する活動を行っている。

キーワード [キングスガーデン宮城](#) [佐藤由美子](#) [東北地方太平洋沖地震気仙沼市](#)

もう一人のキーマン:佐藤真海さん

・佐藤真海(パラリンピックアスリート日本代表気仙沼出身)

池永と共にNPO法人を立ち上げる。震災前から

尾道でも日比崎中学校50周年記念講演や、

松永(尾道の隣町)の本郷小学校でも講演してくれた。

しまなみ音楽フェス推進リーダーの青山とも平谷尾道市長とも交流がある。

初めて尾道に来たときにあまりにも、**地元気仙沼の景色と似ている**

事に驚き、それまで意識の少なかった故郷への想いが大きくなる。

(それまでは病を経てパラリンピック選手への道で故郷を振り返る余裕がなかった)



応援して下さっている人



富司純子さん
池永が理事を努めるNPO法人Happy Japan Projectの炊き出しプロジェクトに多額の寄付をくださり、被災地の方へメッセージをくださいました。

寺島しのぶさん

被災地の方へメッセージをくださいました。



横山 雄二 (よこやま ゆうじ)さん

- ・平成ラチオバラエティ ごぜん様さま(木曜、金曜担当 9:00～11:29)
- ・ザ★横山雄二ショー(土曜 22:00～22:55)
- ・ゴルフの花道(日曜 あさ6:15～6:45)
- ・ノーヘン(年に6回 不定期OA)

CD製作でのアーティスト活動のほか、作詞・本の出版・映画監督・映画出演などを精力的にこなす。紛れもなく、広島で一番忙しいアナウンサーが
今回司会として駆けつけてくださいます。



森田直幸さん

NHK連続朝ドラ「てっぱん」の鉄兄役

今回池永と緊急ユニットを組み、ステージで歌を披露してくださいます。現在被災地に向けてfunky monkey babysの応援ソング「それでも信じてる」のPVの主演を務めています。歌の披露は芸能生活で初めてです！！



ひまり

大阪のストリート出身の男性デュオ。

リーダー松瀬は因島出身！

サブリーダー門松。所属事務所は(株)ウェッジリンク。

所属レコード会社はwedgelinek。



PLASTIC ONO★MICH BAND

尾道がからメジャーデビューしたバンド

“The 東南西北”と “ジャンクルーズ”

のマインドが融合し、変幻自在の自由なバンドが誕生しました。毎回編成が柔軟に変わっていくバンド。今回は初LIVEと同じ編成で出演します。ボーカルの池永はこのイベントの企画にも協力しています。

しまなみ音楽フェス～絆～ 報告① 言の葉

気仙沼の方達の印象深い言葉

「尾道を歩いている時に、あれ？見たような光景がってみんなで話してたんです。海があつてすぐ、島がある所とか、本当に気仙沼に似てますね～」

「しまなみの人って暖かいですね。本当に嬉しかったです。気仙沼に帰ってこの事をきっちりとみんなに伝えます」

「この人なんて、自分の家が流れて行くの見てるんだもの～(笑)」

「商品が残ってるのが少ないけど、あるものを持ってきました。」

「これは震災の時に川のほとりに咲いてたさくらを使ってみんなでおりにしたんだよ。今回寄付をくださったりした方に差し上げようと思って持ってきました」

「あれだけの事があつたのに、みんな海の近くを離れられないのよね。」

「気仙沼は今建物がなくなって広くなったから悲しいくらい景色が綺麗ですよ」

「どうせ復興しなきゃいけないんだからどんな街を作るか考えながら、尾道の街を参考にしています」

「揺れがこないのが不思議・・・」

「久しぶりに楽しかった」

「尾道と気仙沼がずっと繋がっていいですね」

「いちじくって生で食べるの？初めて！」

「本当にありがとう」

「尾道に来て良かった～」

「これだけ沢山の方に頂いたんですから、私たちちゃんとお返しができる街を作りたい」



しまなみ音楽フェス～絆～ 報告② 初尾道

2011年8月27日(土)

我が家に来てくださった気仙沼の方々。気仙沼の福祉施設キングスガーデンの人達を中心に来て下さった。新幹線だけでも10時間。一日がかりで来てくださった。こんな想いを絶対にはしたくない。そんな想いが実行メンバーの頭をよぎる。市議会議長の臼井さんも駆けつけてくださった。この気仙沼のファミリーの想いが、このイベントを作ったようなものだ。

震災以降、イベントで気仙沼以外の場所に出かけていくのは今回の尾道が初めてで、とても名誉な事である。

今回の気仙沼のキーマンの佐藤由美子さん。由美子さんはNHKあさイチでも紹介されたほどのバイタリティのある人で中心となって復興に力を入れておられます。由美子さんご自身も家を流されてしまったのですが、本当に大変な想いをされたにも関わらず、常に前を向いてる人です。

ひまりの時もタオル降ってステージに出たり、とにかくバイタリティがすごい！この方なくしては間違いなく出来なかったイベントです。

この日は尾道観光をしていただいたり、因島の祭に尾道市会議員の宇根本茂さんが全員を招待したりで、おもいきり楽しんで頂いた。震災以来「楽しむ」事がなかったとの事で、お祭りがとても喜んで頂いた。



気仙沼ファミリーが、しまなみ海道を車で走りながら話してた言葉が興味深かった。「議長さん、これ気仙沼に取り入れましょうよ！」とか、次の街作りに尾道を参考にしてくれているのだ。復興するという事は、今から街を作っていくという事でもあるので、もし本当に尾道を少しでも参考にしてくれたりすると我々にとってもこれほど嬉しい事はない。今回のイベントはあくまでも、今後何十年のかかる復興のお手伝いのスタートにすぎない。だから、しっかりと交流し、人間関係を作る事が実は一番大切な事であったりする。私が、NPO法人の仲間と尾道ラーメンの炊き出しに何度か行って思った事は、被災地との温度差。被災地、東京、尾道でもまた全然今回の震災に関しての感覚の違いにとまどった事もある。しかしこの震災は体力と持続力が必要。西日本の力が必要なのは今からだと思うので、まずは意識を合わせる所から始めた。

人間喜んでもらう顔や声を聞くと、また届けたくなるもの。尾道からも想いを届け、気仙沼の人にも想いを返してくれる。色々な形の支援があり、どれも大事だとは思いますが、交流を元にお互いが手をしっかり繋いで、何が必要か、すぐ言えるくらいの関係を作り、情報交換し一緒に歩いていく。常に想いは伝わり、返ってくる。これからの復興の大事な事の一つだと思い、尾道JCと共にこの絆プロジェクトを企画した。

だからこそ、震災後街と街が手を繋ぎ、心と心で協力し合える本当の意味での姉妹都市なるのが大切で、これが復興事業のモデルケースとなり、日本中それぞれの街がそれぞれの街を応援するプロジェクトが組まれると思う。このプロジェクトは実働的であり、必ず継続すると信じている。そうゆう意味でもとても大切なイベントであり、はじまりなのである。ましてや、尾道と気仙沼は街も似ているし、海沿いの街としてイメージも付きやすい。もし、尾道が津波にのみ込まれたら？と考えるとリアルな感情が湧いてくる。そんな事が実際に起こってるのだ。完全復興した時に一緒に喜び合える。そんな関係を築いていきたい。

しまなみ音楽フェス～絆～ 報告③ 音楽祭

物販ブースには気仙沼の物産や、パネルが展示されてある。
夏の終わりだというのに、猛暑並みの気温。
そんな中、司会を務めてくださった**横山雄二**さん。
広島で一番忙しいアナウンサーなのに、今回ボランティアで来てくださりました。
本当に面白いし、熱いし、元気だし、重要ポイントだけをまとめて、
うまく、正確にこのイベントのメッセージを伝えてくださりました。

最初は尾道青年会議所理事長の**手塚淳三**さん(写真左下 啓文社社長)
イベント終わった後にしっかりと握手してくれて涙していた
その姿を見て、こんなに人間味の強い、素敵なお方だと改めて感じる事が
出来て良かったです。



気仙沼の大漁旗。

この辺では漁師の人も大漁旗を上げる事がないので、みんな
その迫力に
珍しそうにみていました。
ステージに立ったのは今回のキーマン「**佐藤由美子**さん」
気仙沼の現状と気持ちを伝えてくださいました。
「**お金やものじゃとかじゃなくても、これから私達ちゃんと復興
するので、気仙沼頑張ってるねって応援してほしいです**」



という言葉に感動した人は沢山おられました。
そして、今回気仙沼から駆けつけてくれて歌を届けてくれた
アーティストは**新野真理**さん。
アメイジンググレースと、我が心のマリアと
気仙沼の曲「海潮音」に歌詞を付けて歌ってくれました。
同じステージに、**気仙沼市議会議長の臼井**さんもお話してくださいました。



そして、今回東京から忙しいのに駆けつけてくれたパラリンピックアスリートの**佐藤真海**ちゃん。
彼女は気仙沼出身で、気仙沼の小学校や中学校に文房具や義捐金を集めて持って行く活動をしています。
一緒に**NPO法人Happy Japan Project**を作った仲間で、佐藤由美子さんも、元々は彼女を通して知り合いました。
言わば、今回のイベントのきっかけとなった人物です。
トークショーも出てくれて、ダブル佐藤さんで気温35度西陽直射日光20分の中想いを伝えてくれました。

しまなみ音楽フェス～絆～ 出演アーティスト



LDB



マウンテンマウス



Suger fracture
(尾道大学)



ひまり



新開警備隊



PLASTIC ONO☆MACHI BAND



森田直幸

しまなみ音楽フェス～絆～ 報告④ 熱い人たち

一人の力ではどうしても出来なくても、志高く、熱い気持ちを持った人間が集まると大きな力になる。今回も、このイベントを開催するのに数々の困難もありました。

尾道青年会議所の委員長河合茂さんはステージで、「このイベントで家族に迷惑を沢山かけました。妻にもこの場を借りて御礼を言わせてください」と涙ぐみながら挨拶をされていました。

推進リーダーの青山暢克君(私の親友です)も、大きな壁にぶち当たった時に、やはり支えてくれたのは奥様だと言っていました。俳優の森田直幸君も、多忙なスケジュールの中なんとかマネージャーさんが時間を作ってください、

瀬戸田に連れて来てくれました。直幸君自身も本当に心から気仙沼の人に届けたい、役に立ちたいという気持ちで初めてのポータルに挑戦してくれました。パラリンピックアスリートの佐藤真海ちゃんも、身体を悪くするくらいの過激なスケジュールの中、気仙沼と尾道のキーマンとして、実費で東京から駆けつけてくれました。

今回音響をしてくださったのはマンテツプランニングの筒井昭仁さん。せっかく気仙沼から来てくれるんだからと、最高の機材を組んで下さいました。赤字額は聞いたらずげめるくらいでした。間違いなく一番の協賛だと思います。

大きなイベントをやるには、本当に沢山の人の理解と支えが必要で、そういう意味では今回のしまなみ音楽フェス～絆～は多くのしまなみの人達の気持ちが一つになったのではないかと思います。残念な事は、伝達、情報不足でこのイベントの良さが思った以上に中々伝わってなかった事。

そして、会場の作りが広すぎてお客様が1200人以上来てくださったのにとっても少なく見えた事。

これらを、来年からのイベントの課題にし、改善して進めていくつもりです。

尾道青年会議所手塚淳三理事長は、このイベントをきっかけにまずは3年を目指したいと言っていただきました。手塚会長は、最後に花火があがってみんなが抱き合った時に、涙を流し、私に「ありがとう」と、しっかり手を握って下さいました。

その男意気に感動し、この方がリーダーだと言う事がどれほど運が良かったかを、改めて感じれる瞬間でした。気仙沼の佐藤由美子さんは、尾道までという、恐ろしくの長距離を7人も連れて来てくださ

いました。普通では考えられないエネルギーです。直接現場の言葉を聞けるという事の大事さは今回参加したメンバーが全員感じる事が出来たと思います。

これから、長い道のりを尾道と気仙沼が共に歩いていく最初の大事な出会いはとてもいい形で終わる事ができました。

池永 憲彦

<http://toki-bookworm.jugem.jp/?eid=103> ←来て下さったお客様の感想



募金を募る森田直幸に集まるファンの人達



パラリンピックアスリート 佐藤真海さん



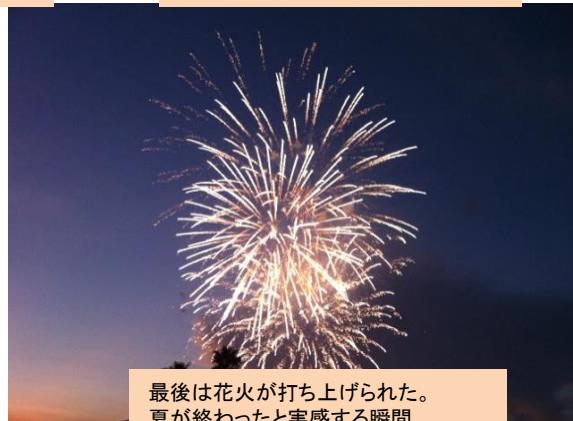
初ボーカル！森田直幸



尾道青年会議所 河合茂委員長



フィナーレは榎原敬之さんの「世界に一つだけの花」



最後は花火が打ち上げられた。夏が終わったと実感する瞬間。